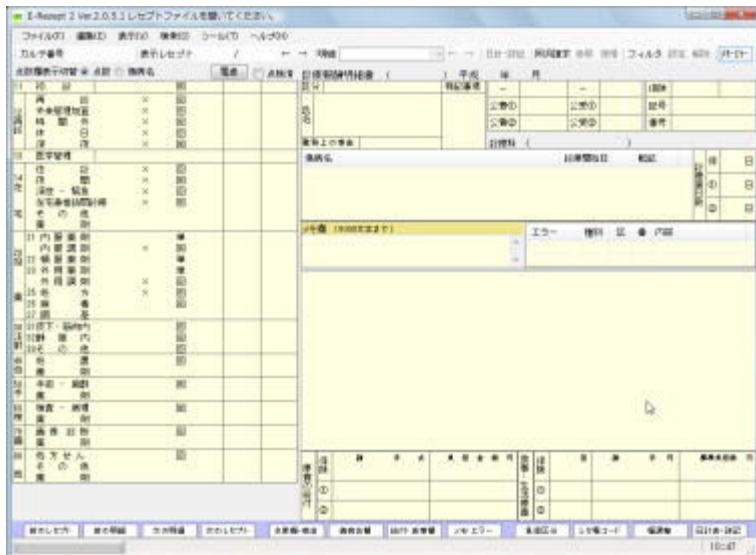


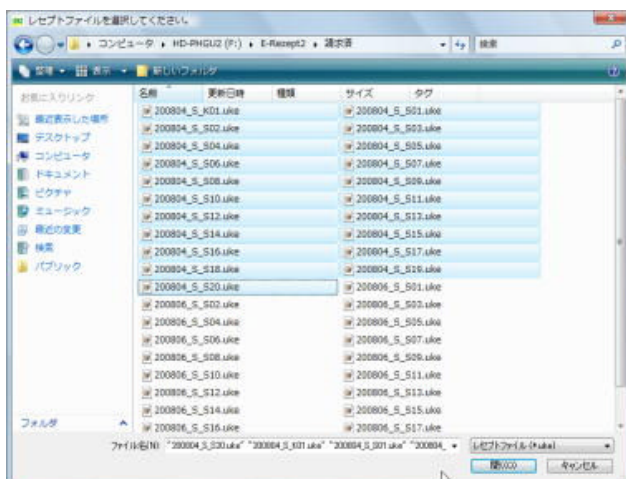
1. 起動とレセプトファイルの読み込み



E-Rezept を起動します。E-Rezept のアイコンをダブルクリックしてください。



メイン画面が表示されたら、レセプトを開きます。レセプトの開き方は以下の2種類あります。



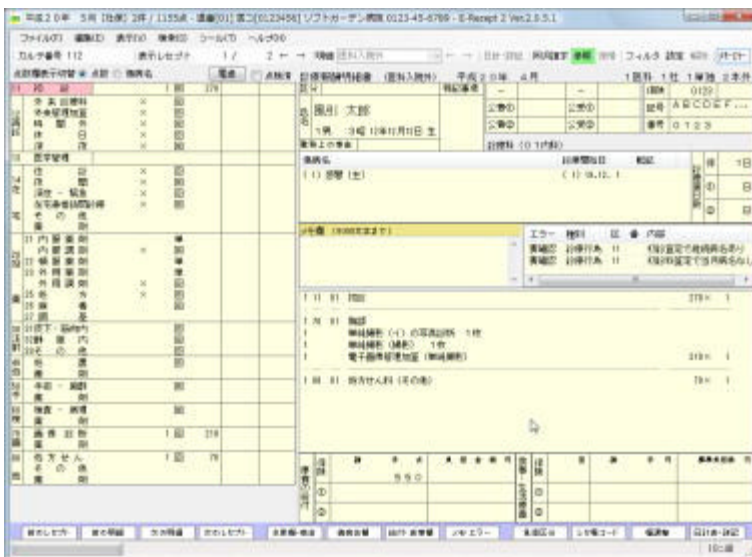
①メニューから[ファイル]－[レセプトファイルを直接開く](Ctrl+O)を選択し、ファイル選択ウィンドウが表示されたら、開くレセプトファイルを選択します。社保・国保混ぜて好きなだけ同時に開くことが出来ます。(ただし、一度に開きすぎると処理が遅くなります)

D P C コーディングファイルがある場合は、含めて指定して下さい。



②管理者が登録したレセプトを選択して開く場合は、[ファイル]－[レセプトファイルをリストから選択して開く](Ctrl+L)を選択すると、左の画面が表示されます。画面は大きく上・中・下段の3つに分かれています。上段は点検用レセプトで、リストから読み込む診療年月を選択し、社保・国保や読み込み順を選択し、「読み込み」ボタンをクリックします。中段は請求済のレセプトで、点検用と同じ要領で読み込みます。

下段は中段同様請求済ですが、必要な複数の診療年月を社保・国保それぞれ指定して読み込むことが出来ます。



レセプトファイルを読み込むと基本マスタが読み込まれ、レセプトが表示されます。

2. レセプトの点検時の操作

メイン画面のメニューの下には表示をコントロールするボタンや入力欄等が配置されているツールバーがあります。



左から順に、

カルテ番号 …… 直接入力して「Enter」キーを押下すると該当の患者を検索します。

表示レセプト …… 左側は直接番号を入力することが出来ます。全読み込みレセプトの通し番号です。

また、「←(F1)」・「→(F4)」ボタンをクリックすると一つ前・一つ後のレセプトを表示します。

明細 …… D P Cで総括対象レセプトの場合は、これを利用して表示を切り替えます。「←(F2)」・「→(F3)」

縦覧 …… 表示中レセプトの縦覧点検モードへ入り、今回請求分のレセプトのみ表示されるようになります。「参照」で過去の請求レセプトを表示した場合は、診療年月が赤色文字になります。縦覧点検するためには、過去請求分のレセプトファイルも読み込む必要があります。

D P C …… D P Cコーディングファイルも読み込まれている場合は、D P Cレセプト表示時にD P Cコーディングデータを摘要欄に表示します。

日計・詳記 …… 日計表と症状詳記を表示します。レセプトに日計表や症状詳記がある場合、「日計・詳記(F12)」ボタンが桃色になります。

他請求 …… 表示中のレセプトの患者に同月請求または同一患者のレセプトが他に読み込まれている場合は「参照」ボタンが緑色になります。クリックして他のレセプトを参照することが出来ます。他のレセプトを参照した場合、「復帰」ボタンが桃色になり、参照モードとなります。参照先レセプトのメモを記録することも出来ますが、過去請求分のレセプトにはメモすることは出来ません。参照した後は、必ず「復帰」ボタンをクリックし、参照モードを終了してください。

フィルタ …… フィルタ設定をして、表示するレセプトを限定することが出来ます。「設定」ボタンをクリックし、フィルタ設定画面で設定すると、フィルタ表示モードになり、「解除」ボタンが桃色になります。フィルタモードを終了する場合は、「解除」ボタンをクリックしてください。

フィルタの設定の仕方は、「フィルタ設定の仕方.pdf」を参照してください。

メモ・エラー・・・メモ入力欄やエラー内容(エラーチェック機能有効時)を表示します。この表示がされていない時に、エラーチェックでエラーがあった場合、「メモ・エラー(F8)」ボタンは桃色になります。クリックすると摘要欄の上に表示されます。表示中はエラーがある場合も、ボタンの色は桃色にはなりません。

※ツールバー上で右クリックすると、フィルタ設定実行メニューが表示され、素早くフィルタ設定を実行する事が出来ます。

点数欄のすぐ上には表示切替と電卓起動ボタン、点検済チェックボックスがあります。



表示切替は、医科レセプトの場合は点数欄と傷病名欄、DPCの場合は点数欄と患者基礎情報から選択出来ます。傷病名欄に切り替えると、一度に25～30件ほど病名が表示でき、点検が楽になります。

計算が必要な場合は、電卓ボタンをクリックすると、Windowsに付属する電卓が起動します。

点検が終わったレセプトは点検済チェックボックスをチェック状態にすると、フィルタ設定で点検済・未点検で抽出することが出来るようになります。DPCの場合もレセプト単位でチェックを入れることが出来ます。

(特殊設定で、点検済・未点検の表示を切り替えることが出来ます)

3. ファンクションキーで簡単操作

ファンクションキーガイドを表示(メニューから[表示]ー[ファンクションキーガイド表示する])を選択すると以下の画面がメイン画面の下部に表示されます。対応するF1～F12キーを押下するか、マウスでクリックすると機能が動作します。

F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11	F12
前のレセプト	前の明細	次の明細	次のレセプト	点数欄に病名	傷病名欄	給付・食事欄	メモ・エラー	負担区分	レセ電コード	幅調整	日計表・詳記

F1(前のレセプト)・・・一つ前のレセプトを表示します。

F2(前の明細)・・・・一つ前の明細(DPCのみ。総括対象レセプトの場合)を表示します。

F3(次の明細)・・・・一つ後の明細(DPCのみ。総括対象レセプトの場合)を表示します。

F4(次のレセプト)・・・一つ後のレセプトを表示します。

F5(点数欄に病名)・・・点数欄を傷病名欄に変更、または点数欄に戻します。

F6(傷病名欄)・・・・傷病名欄、診療実日数欄の表示・非表示を切り替えます。

F7(給付・食事欄)・・・療養の給付欄、食事・生活療養欄の表示・非表示を切り替えます。

F8(メモ・エラー)・・・メモ欄、エラー内容表示欄の表示・非表示を切り替えます。

F9(負担区分)・・・・摘要欄の負担区分コードの表示・非表示を切り替えます。

F10(レセ電コード)・・・摘要欄のレセプト電算コードの表示・非表示を切り替えます。

F11(幅調整)・・・・摘要欄の内容が切れた場合、幅調整してすべて表示します。

F12(日計表・詳記)・・・日計表・症状詳記を表示します。

・その他のショートカットキー

Ctrl+O : レセプトファイルを直接開く

Ctrl+L : レセプトファイルをリストから選択して開く

Alt+F4 : E-Rezept2を終了する

Ctrl+F12 : 点検済・未点検チェック切り替え
Ctrl+F1 : ファンクションキーガイド表示
Ctrl+F2 : 負担区分ガイド表示
Ctrl+F5 : D P C コーディングデータを表示
Ctrl+J : 縦覧点検補助機能
Ctrl+H : 表示する診療区分の変更
Ctrl+F10 : 表示中患者のレセ電コード表示
Ctrl+F : カルテ番号検索
Ctrl+T : 氏名検索
Ctrl+G : 生年月日検索
Ctrl+D : フィルタ設定
Ctrl+U : フィルタ設定実行 (ユーザー)
Ctrl+Y : フィルタ設定実行 (共有)
Ctrl+M : マスタ検索
Ctrl+S : 診療内容の文字列検索
Ctrl+R : 表示中レセプトの再表示

4. メニューの機能について

[ファイル]メニュー

- ・レセプトファイルを直接開く (Ctrl+O)
→レセプト電算ファイルを直接指定してレセプトファイルを開きます。社保・国保を混ぜて、必要な分のファイルを一度に読み込む事ができます。
- ・レセプトファイルをリストから選択して開く (Ctrl+L)
→管理者が登録したレセプトファイルをリストから選択して開きます。詳しくは、「初めての利用と設定方法.pdf」をご覧ください。
- ・点検システムの結果を読み込む (点検結果が登録されている場合のみ有効)
→特殊設定で取り込んだレセプト点検システムの結果を読み込み、参照しながらレセプト点検を行います。
- ・レセプト点検を再開する (作業状態読込)
→中断した時点の状態へ戻します。ただしレセプト点検の中断後、レセプトファイルを更新した場合、元に戻せなくなりますのでご注意ください。
- ・レセプト点検を中断する (作業状態保存)
→現在の作業状態を保存します。読み込んでいるレセプトファイル、フィルタ設定情報、メモ情報、点検済・未点検情報、表示中のレセプト情報と明細 (明細はD P Cのみ)
- ・メモリストを読み込む
→登録したメモリストを読み込みます。保存した時と読み込まれているレセプトファイルが違ったり、複数のレセプトファイルを読み込んでいる場合、読み込み順序が違くとメモリストを読み込めなくなるので注意が必要です。
- ・メモリストを保存する
→編集したメモをリスト保存します。保存した内容は Excel 等で利用することができます。
- ・フィルタ抽出されたレセプトのエラーリストを保存する
→フィルタ設定で抽出されたレセプトのみを一括でエラーチェックし、エラーの

内容をリスト保存します。エラーチェックはエラーチェック設定で指定された項目のチェックを行い、指定がなければこの機能は動作しません。保存した内容は Excel 等で利用することができます。

- ・すべてのエラーリストを保存する

→すべてのレセプトを一括でエラーチェックし、エラーの内容をリスト保存します。エラーチェックはエラーチェック設定で指定された項目のチェックを行い、指定がなければこの機能は動作しません。保存した内容は Excel 等で利用することができます。

- ・フィルタリストを保存する

→フィルタ設定で抽出されたレセプトの情報をファイルに保存します。診療内容条件に一致した場合は、その一致内容ごとに出力されます。不一致条件を指定した場合は、不一致のみの情報は保存されますが、一致と不一致が条件に指定された場合は、不一致については保存されません。保存した内容は Excel 等で利用することができます。

- ・フィルタリストを一括保存する

→フィルタ設定で保存された複数の条件を利用し、一度にリスト出力します。

- ・レセプトリストを保存する

→全レセプトの情報をファイルに保存します。保存した内容は Excel 等で利用することができます。

- ・未点検リスト印刷

→未点検レセプトのリストを印刷します。フィルタ設定や縦覧点検中は該当するレセプトの未点検リストとなります。

[編集]メニュー

- ・すべてのメモを削除する

→レセプト点検等で登録したすべてのメモ、または読み込んだメモリストの内容をすべて削除します。

- ・点検済・未点検チェック切り替え

→この項目にチェックを入れるとフィルタ設定で点検済・未点検のレセプトを抽出できます。

[表示]メニュー

- ・次のレセプト (F4)

→一つ後のレセプトを表示します。

- ・前のレセプト (F1)

→一つ前のレセプトを表示します。

- ・次の明細 (DPC のみ) (F3)

→総括対象 D P C レセプトの場合、一つ後のレセプトを表示します。

- ・前の明細 (DPC のみ) (F2)

→総括対象 D P C レセプトの場合、一つ前の明細を表示します。

- ・点数欄スペースに傷病名を表示する (F5)

→点数欄を傷病名欄に変更、または点数欄に戻します。

- ・傷病名または診断群分類欄と診療実日数を表示しない (F6)

→傷病名欄または診断群分類欄、診療実日数欄の表示・非表示を切り替えます。

- ・療養の給付と食事・生活療養欄を表示しない (F7)

- 療養の給付欄、食事・生活療養欄の表示・非表示を切り替えます。
- ・メモ入力欄とエラー内容を表示しない(F8)
→メモ欄、エラー内容表示欄の表示・非表示を切り替えます。
 - ・摘要欄に負担区分を表示する(F9)
→摘要欄の負担区分コードの表示・非表示を切り替えます。
 - ・点検結果内容を表示する(Ctrl+K)
→レセプト点検システムの結果表示・非表示を切り替えます。
 - ・摘要欄・傷病名欄にレセ電コードを表示する(F10)
→摘要欄のレセプト電算コードの表示・非表示を切り替えます。
 - ・摘要欄・傷病名欄の幅を自動調整する(F11)
→摘要欄の内容が切れた場合、幅調整してすべて表示します。
 - ・D P C コーディングデータを表示(Ctrl+F5)
→D P C コーディングデータも読み込まれている場合は摘要欄へ表示します。
 - ・日計表と症状詳記を表示する(F12)
→日計表・症状詳記を表示します。
 - ・ファンクションキーガイドを表示する(Ctrl+F1)
→メイン画面下部にファンクションキーのガイドを表示します。
 - ・負担区分ガイドを表示する(Ctrl+F2)
→負担区分ガイドウィンドウを表示します。このウィンドウでは改定年度、負担区分コードを選択すると、医保または公費のどれを使用しているか分かります。
 - ・表示診療区分(Ctrl+H)
→画面上部に、桃色のすべての診療区分が表示されたバーが表示され、□枠で囲まれたもののみが摘要欄に表示されます。重点的に点検する場合に使用します。
 - ・表示中患者のレセ電コードを表示する(Ctrl+F10)
→表示中患者のレセ電コードウィンドウが表示され、表示中のレセプトのレセ電コードを表示します。個人情報の表示・非表示や、D P C の場合はレセプト単位・明細単位の切り替えができます。表示されたコードは直接編集出来るので、問い合わせ用等のレセ電コードを保存する場合は、個人情報が含まれていないか十分確認して、必要があれば編集してから保存します。
 - ・表示中レセプトの再表示(Ctrl+R)
→文字列検索で変わった背景色を戻します。

[検索]メニュー

- ・カルテ番号検索(Ctrl+F)
→カルテ番号を入力し、該当患者のレセプトを検索します。カルテ番号が数値のみの場合は、先頭の「0」は省略することができます。
- ・氏名検索(Ctrl+T)
→氏名または氏名の一部を入力し、該当患者のレセプトを検索します。
- ・生年月日検索(Ctrl+G)
→生年月日を入力し、該当患者のレセプトを検索します。入力には以下の規則に従って行います。

明治→ M または 1	}	左の元号 + 年(2桁) + 月(2桁) + 日(2桁)
大正→ T または 2		
昭和→ S または 3		
平成→ H または 4		

例：昭和 12 年 3 月 4 日生まれの場合は
3120304 または S120304

- ・ **フィルタ設定 (Ctrl+D)**

→フィルタを設定します。フィルタの設定の仕方は、「フィルタ設定の仕方.pdf」を参照してください。

- ・ **フィルタ設定実行 (ユーザー) (Ctrl+U)**

→フィルタ設定を設定ファイルから読み込み実行します。

- ・ **フィルタ設定実行 (共有) (Ctrl+Y)**

→フィルタ設定を設定ファイルから読み込み実行します。

- ・ **フィルタ解除**

→フィルタ設定を解除します。

- ・ **マスタ検索**

→マスタの検索や検索したマスタ内容のファイル出力が出来ます。また、D P C の簡易計算機能もあります。(D P C のアップコーディングは行わないで下さい。)

- ・ **文字列検索 (Ctrl+S)**

→診療内容の文字列検索を行い、該当項目の背景を紫色にします。

[ツール]メニュー

- ・ **特殊設定**

→カルテ番号の加工、メモ欄へのドラッグドロップ項目設定、メモリストの保存方法等を指定できます。

カルテ番号の加工については、レセプト電算出力時にカルテ番号に病院独自または、レセコンメーカーにより、カルテ番号に付加情報を出力している場合、通常のカルテ番号として利用できず、カルテ番号検索がうまく出来ません。通常のカルテ番号として使用するための加工を行いたい場合は、特殊設定画面で設定します。

また、点検等で摘要欄や傷病名欄からメモ欄へドラッグ&ドロップしたい場合に不要な情報を貼り付けないように、必要項目を指定することが出来ます。

点検等で入力したメモの内容を CSV に保存する際、Excel のセル内で改行を有効にしたい場合は、設定で変更することが出来ます。初期設定では、メモ欄の改行は「::」で区別されていますが、Excel ではセル内改行の方が見やすいかもしれません。(設定を変更した場合は、メモ帳等では表示が崩れます。)

→管理者タブ内の"Admin.key"の有無判定および Windows ユーザー名判定を有効にすると、一般ユーザーが管理者設定に変更出来なくなります。

"Admin.key"の有無判定が有効の場合

└ローカルの E-Rezept2 フォルダに Admin.key ファイルが存在する場合のみ、管理者として判断されます。

"Windows ユーザー名判定が有効の場合

└ Windows ログイン時のユーザー名と指定されたユーザー名が一致した場合に管理者として判断されます。

- ・ **エラーチェック設定**

→レセプト表示時、またはエラーリスト保存時にチェックするエラーチェック項目を設定します。エラーチェックが必要ない場合は、すべてのチェックを外してください。

- ・ **電卓**

→ Windows に付属する電卓を起動します。

- ・ ツールメニューの他の項目について

→他の項目については、「初めての利用と設定方法.pdf」を参照してください。

5. その他の画面説明

①レセプト選択画面

[illegible]

→患者を検索した際に、その患者について複数レセプトが存在する場合に選択画面が表示されます。また、「参照」ボタンをクリックした場合も表示されます。背景が桃色のレセプトが元のレセプトです。復帰ボタンで桃色表示のレセプトに戻ります。

②日計表と症状詳記

氏名 レセ電 太郎 診療科 内科

表示種別: ☒ 日計表と症状詳記 ☐ 日計表のみ ☐ 症状詳記のみ

表示範囲: ☒ すべて ☐ 明細単位 (DPC)

日計表を保存 閉じる

品名・規格	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
<投薬>																												
テオドールドライシロップ20%													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
ガスター散2%													2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
ピオスリー散													3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
アドナ散10%																	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	
トランサミン散50%																	1.5	1.5	1.5	1.5	3	3	3	1.5	1.5	1.5	1.5	
グリチロン錠																	3	3	3	3	6	6	6	3	3	3	3	
フロセミド錠4%「EMEC」																	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	
ホクナリンテープ2mg																												
<注射>																												
グリチロン錠																												
ヒューマリンR注U-100 100単位																												

症状詳記のテストです。審査をよろしくお願いします。

【リハビリテーションに係る治療継続の理由等】
リハビリに関する症状詳記です。審査をよろしくお願いします。

→日計表と症状詳記画面は、表示すると上の様な画面が表示され、上下に分割されています（日計表のみの場合は画面全体が日計表、症状詳記のみの場合は画面全体が症状詳記）。

表示種別を切り替えることで画面全体を指定したもののみ表示が出来ます。また、DPCで明細毎に症状詳記が記録されている場合は、表示範囲を明細単位に切り替えて表示することが出来ます。すべての場合はレセプトに係わる日計表及び症状詳記がすべて表示されています。

③マスタ検索

マスタ検索

マスタ年月選択: 平成21年01月, 平成20年12月, 平成20年11月, 平成20年10月, 平成20年09月, 平成20年08月, 平成20年07月, 平成20年06月, 平成20年05月, 平成20年04月, 平成20年03月, 平成20年02月, 平成20年01月, 平成19年12月, 平成19年11月, 平成19年10月, 平成19年09月, 平成19年08月, 平成19年07月, 平成19年06月, 平成19年05月, 平成19年04月, 平成19年03月, 平成19年02月, 平成19年01月, 平成18年12月, 平成18年11月, 平成18年10月, 平成18年09月, 平成18年08月, 平成18年07月, 平成18年06月, 平成18年05月, 平成18年04月

検索種別選択: ☒ 傷病名, ☒ 診療行為, ☒ 医薬品, ☒ 医療材料, ☒ コメント, ☒ 診断群分類 (DPCのみ)

レセコード・診断群分類: 区分: ICD10

内容: 脳腫瘍

点数 (金額): 等しい ☐ 以上 ☐ 以下

DPC計算日数: 30日 再計算

抽出リスト

種別	コード・分類	区・ICD10	内容	カナ	点・単価	DPC入院期間
傷病	8837952	D831	テント下良性脳腫瘍	テント下良性脳腫瘍		
傷病	8837953	D830	テント上良性脳腫瘍	テント上良性脳腫瘍		
傷病	8838784	D832	のう嚢性脳腫瘍	のう嚢性脳腫瘍		
傷病	8839027	T839	脳腫瘍播出前後遺症	脳腫瘍播出前後遺症		
分類	010018xx89x00x		脳腫瘍 (手術: なし, 手術・処置等2: なし, 副傷病: なし)		3414-2635-2240	4- 8- 21
分類	010018xx89x01x		脳腫瘍 (手術: なし, 手術・処置等2: なし, 副傷病: あり)		3107-2412-2050	6- 13- 35
分類	010018xx89x1xx		脳腫瘍 (手術: なし, 手術・処置等2: 1あり)		3108-2400-2090	15- 37- 89
分類	010018xx89x2xx		脳腫瘍 (手術: なし, 手術・処置等2: 2あり)		4253-3140-2676	8- 15- 34
分類	010018xx89x4xx		脳腫瘍 (手術: なし, 手術・処置等2: 4あり)		2801-2224-1830	18- 30- 79
分類	010018xx89x5xx		脳腫瘍 (手術: なし, 手術・処置等2: 5あり)		5123-3505-2879	3- 14- 37
分類	010018xx89x0xx		脳腫瘍 (その他の手術あり, 手術・処置等2: なし)		2953-2253-1915	10- 21- 52

選択項目追加 全項目追加

※ DPCの点数計算は目安としてご利用下さい。アップコーディングは禁止されていますので、絶対に行わないで下さい。

選択リスト

種別	コード・分類	区・ICD10	内容	カナ	点・単価	DPC入院期間	日数	超日数	DPC点数
診療	111000110	A000	初診	初診	270.00				
傷病	2396015	D430	天幕上脳腫瘍	天幕上脳腫瘍					
分類	010018xx89x00x		脳腫瘍 (手術: なし, 手術・処置等2: なし, 副傷病: なし)		3414-2635-2240	4- 8- 21	30	9	52,142
分類	010018xx89x01x		脳腫瘍 (手術: なし, 手術・処置等2: 1あり)		3107-2412-2050	6- 13- 35	30		69,318

選択項目削除 全項目削除

保存する 閉じる

マスタ検索では以下の手順で目的の診療内容項目やD P Cの診断群分類を検索します。

①マスタ年月選択

②検索種別選択

③検索条件指定

- ・レセ電コード・診断群分類
- ・区分・ICD10
- ・内容 (項目名)
- ・点数 (金額)

→条件入力後に「絞り込み」ボタンクリック

④診断群分類を検索する場合は日数を入力するとその日数分の点数を計算します。

「保存する」ボタンをクリックすると、選択リストの内容をCSVファイルへ保存することが出来ます。